

令和元年 8 月 23 日

大阪府知事 吉村 洋文 様

大阪府市地方独立行政法人
大阪健康安全基盤研究所評価委員会
委員長 田中 敏嗣

意見書

大阪府市地方独立行政法人大阪健康安全基盤研究所評価委員会共同設置規約第4条及び地方独立行政法人大阪健康安全基盤研究所の業務運営並びに財務及び会計に関する大阪府市規約第8条の規定に基づく、地方独立行政法人大阪健康安全基盤研究所の平成30事業年度の業務実績に係る大阪府知事の評価に対する本評価委員会の意見は、下記のとおりである。

記

1 大阪府知事の評価に対する意見

地方独立行政法人大阪健康安全基盤研究所の平成30事業年度の業務実績に係る大阪府知事の評価については、適正に実施されており、特に意見はありません。

2 その他の意見

平成30事業年度の業務実績を踏まえ、地方独立行政法人大阪健康安全基盤研究所の今後の法人運営について、以下のとおり議論があったので参考とされたい。

(1) 施設一元化に伴う統合効果の発揮について

一元化施設の整備に伴い早期に統合効果を発揮することができるよう、検査業務、組織、予算の統合など、ソフト面での先行的な取組みを加速されたい。また、設立団体においては、大阪健康安全基盤研究所が地方独立行政法人のメリットを活かせるよう、運営費交付金の弾力化を進め、交付金を一括して法人の裁量により運用できるよう、早期に適切に対処されたい。

(2) 財務書類等の活用について

健全な法人運営を実施するために、財務書類等を適切に作成・分析することで予算や財務に関する課題を把握し、予算編成等に活用されたい。

(3) 目的積立金制度の運用について

職員のモチベーションを向上し、法人の経営努力を促進することができるよう、目的積立金制度の運用には十分配慮されたい。

(4) 西日本の中核的な地方衛生研究所の実現に向けて

引き続き、西日本の中核的な地方衛生研究所となることをめざし、地方独立行政法人としての自主性や機動性を発揮して、産業界等を対象とする研修事業、積極的な情報発信など、対外的な業務の拡大を図られたい。また、設立団体においても、法人のこうした積極的な取組みを支援されたい。

(5) 組織面での統合効果の向上について

施設一元化に合わせ、組織面での統合効果をさらに高めるため、今後の組織のあり方を見据えながら、多様な手法による人材確保・育成並びに適材適所の人事運用、柔軟な人事制度の確立、組織文化の醸成など、人的資源を最大限に発揮できる仕組みづくりとその活用に取り組みされたい。

以上